

平成 21 年度 事業 報告 書



平成 21 年 4 月 1 日から
平成 22 年 3 月 31 日まで

はじめに

財団法人ちば国際コンベンションビューローは、平成元年 6 月 1 日に財団法人千葉コンベンションビューローとして創設され、平成 13 年 4 月 1 日に財団法人千葉県国際交流協会と統合し、社会情勢等の激しい変化に対応しながら、より効率的な事業運営に努め、コンベンション事業を推進するとともに、国際交流の促進を図り、地域経済の活性化と国際相互理解の増進に寄与してきたところである。

平成 21 年度は、当財団創設 20 周年目の節目の年であるとともに、第 2 次中期計画（平成 19 年度～平成 21 年度）の最終年にあたり、同計画を踏まえた「平成 21 年度事業計画」に基づき、事業活動を展開した。

コンベンション部門では、戦略的にコンベンション誘致に取り組み、中期計画で定めた数値目標である誘致件数 130 件、経済波及効果 132 億円を上回り（実績 145 件、135 億円）、地域経済の活性化に貢献した。

国際交流部門では、市町村協会などの地域組織と連携して、千葉県における国際交流、多文化共生及び国際協力を一層推進した。

更に平成 22 年度からの 3 年間を計画期間とする「第 3 次中期計画」を策定し、激動する社会及び経済情勢を見据え、限られた資源の有効活用により、戦略的な*MICE 誘致・支援活動の実施とより効率的な国際交流・国際協力・多文化共生事業の運営を目指すこととした。

*MICE（マイス）とは？

企業等の会議（Meeting），企業等の行う報奨・研修旅行（インセンティブ旅行）Incentive Travel，国際機関・団体、学会等が行う国際会議（Convention），イベント、展示会・見本市（Event/Exhibition）の頭文字のこと。多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。

1 経営改善の推進等

事務経費の削減など事務の合理化を図る一方で、新規会員の加入促進、有料支援プログラムの実施、広報紙、ホームページへの広告掲載などにより、自主財源の確保に努め、活動基盤の自立化を図ってきた。

平成 21 年度の県補助金（コンベンション部門）は、76 百万円となり、第 2 次中期計画の基準年である平成 18 年度と比べ 4 百万円減少した。

また、平成 22 年 3 月開催の第 2 回理事会及び評議員会において、公益財団法人への移行スケジュールについて説明した。

2 コンベンション部門

(1) コンベンション誘致事業

*UIA 基準の国際会議に重点を置きながら、地域知名度向上の効果、経済波及効果、国際化促進効果、地域活性化の効果等が期待できる、1,000名規模以上の大型学術会議、社会影響力の高い政府間会議や民間レベルの経済会議、海外の大型企業インセンティブ、大型イベントなどを中心に、国内外の主催団体等へ積極的な誘致活動を展開した。

特に、国際会議観光都市の千葉市・成田市・木更津市や幕張メッセ、かずさパーク、会員ホテルなどのコンベンション施設のみならず、県内の大学や会議等のテーマに応じた関係機関・団体等との連携を強化した誘致活動を行い、地域経済の活性化に貢献するコンベンションの誘致に戦略的に取り組んできた。

主な活動としては、会議主催者等を対象としたセミナーの開催、国内外のコンベンショントレードショーへの出展、JNTO（日本政府観光局）が主催する「MEET JAPAN 2010」などの事業と連携して、県内関連施設等への国内外のデザインメーカー（コンベンション開催決定権者）の視察を受入れて、千葉の魅力をプレゼンテーションし、千葉県開催に向け最大限の働きかけを行った。

その活動の成果として、「第19回原子力工学国際会議 ICONE19」（平成23年5月）、「第10回ヘレンケラー世界会議/第4回世界盲ろう者連盟総会」（平成25年5月）、「第10回アジア太平洋たばこ対策会議」（平成25年8月）など145件（経済波及効果135億円）等の誘致に成功した。

このほか、誘致・支援プログラムについては、多様化する主催者のニーズに的確に対応するため、従来の支援プログラムを45種から100種に改良するとともに、「幕張 OFFICIAL MAP2010」の作成に加えて、海外における展示会・商談会などで千葉県を積極的なPRを進めるため、新たに Chiba MICE Ambassador の任命や「東京ベイエリア」MICE ガイドの作成などにも取り組んだ。

また、千葉県の強みを生かした戦略的な誘致活動を行うための基礎資料として、各種コンベンション情報の調査・収集及びデータベースを更新し、主催者や会員に情報提供を積極的に行った。

*UIA 基準の国際会議…次のいずれかを満たす会議

(1) 国際機関・国際団体の本部が主催又は後援した会議

(2) 国内団体もしくは国際団体支部等が主催した会議で、①参加者数300人以上、②参加国数5カ国以上、③開催期間が3日以上、の条件を満たす会議

(2) コンベンション支援事業

コンベンション主催者及び参加者に対し、質の高い、きめ細かな支援サービスを実施するとともに、展示会やイベント等の開催に伴う波及効果を全県に及ぼすために積極的な支援を実施した。

主な活動としては、主催者に対しコンベンション開催助成金及び貸付金を交付するとともに、サマーソニックやラフェスタ・ミッレミア等の展示会やイベント等では、開催地域と連携し、地域の活性化に結びつくような企画支援を行った。

参加者に対しては、歓迎レセプション時における伝統芸能や千葉県の特産販売などの支援を行い、千葉の魅力を提供した。有料支援プログラムの活用により、自主財源の確保につなげた。このほか文化・語学・コンベンションボランティアの紹介を行った。

(3) 広報事業

当財団の事業をメディア等に積極的に広報し、認知度を高めるとともにホームページ、広報紙である「Face to Face」、「ぶらりネット CHIBA」や会員ニュース、英文ニュースレターの配信等で最新情報を提供した結果、コンベンションの誘致や専門誌等に「千葉」の情報が取り上げられており、コンベンション誘致につなげる役割を果たしてきた。

このほか、広報紙やホームページに対する広告協賛を募り、自主財源の確保に努めた。

また、会員に対するサービスとして、これまで以上に財団への理解・協力を促進するため、会員交流会を開催し、異業種交流や情報交換を図るとともに、会員の要望に合わせた情報の充実を図り、FAX やメールにより会員ニュースを配信した。一方で積極的に会員勧誘に取組み、11 団体が当財団の新たな会員となった。

(4) 受託事業

当財団に関連する事業を積極的に受託した。主な受託事業としては、千葉県から受託した「ちばフィルムコミッション事業」があり、県内の撮影地の紹介を通じて、新しい「コンベンションエリア千葉」として情報発信した。

3 国際交流部門

本県における国際化を推進するための中核的な機関として、また、民間国際交流・協力団体の活動の中心となる役割を担う機関として、在住外国人の支援などを通じ多文化共生社会の実現に参画するとともに、千葉県からできる国際協力（貢献）の推進を図った。併せて、民間団体による国際交流の促進の観点から、市町村協会、大学、NGO など、他団体との連携の強化を図った。

主な活動としては、当財団（千葉県国際交流センター）が実施する事業や国際交流・協力団体による活動や募集、在住外国人への生活情報などを広く周知させるため、会報「国際交流つうしん」や情報誌「国際交流伝言板」の発行、ホームページやメーリングリストの配信等を行うとともに、関係団体との連絡会議等を開催した。

在住外国人が安心して千葉県で生活できるよう、無料法律相談（毎月の実施へ回数を増加）、無料総合相談、外国人テレホン相談を実施したほか、在住外国人の防災意識を啓発するため「地震・台風・火事の体験ツアー」を行った。

国際交流ボランティアの資質向上を目指し、日本語ボランティア講座、コミュニティ通訳研修等を行うとともに、県民の国際理解や国際協力への機運を醸成させるため、「グローバルフェスタ Chiba2009」や国際理解促進講座等を実施するとともに、在住外国人への支援について考えるため、「多文化共生フォーラム」を開催した。

平成 22 年度から、日本語を母語としない住民と日本語でコミュニケーションすることを通じて交流を深める「日本語ボランティア」を、新たに国際交流ボランティア制度の登録対象とすることとした。

また、医療、保健、福祉、教育、防災等に関し、高度に緊急な支援を要する在住外国人のため、国際交流ボランティアを紹介する「多文化共生サポート制度」を創設することとした。

平成 21 年度に実施した各種事業の概要は、次のとおりである。

コンベンション部門

1 コンベンション誘致事業

(1) コンベンション誘致活動

① 国内での個別誘致活動

国、学会、協会、業界団体、大学関係者、企業等の主催者を対象に、千葉県での開催を千葉県・市（千葉市・成田市・木更津市等）、地元大学（千葉大学、千葉工業大学、神田外語大学、千葉商科大学等）及び会議等のテーマに応じた関係機関・関係団体会員等（国立歴史民俗博物館、千葉県医師会等の四師会、かずさ DNA 研究所、アジア経済研究所等）との連携を強化し、協働誘致活動等を実施した。

< 主な誘致活動 >

コンベンション名	協働誘致活動実施団体	活動内容
中東欧研究国際学会 (ICCEES)	観光庁、JNTO、千葉県、千葉市、千葉大学、神田外語大学、アジア経済研究所、千葉県日ロ協会等、幕張メッセ	招聘状 企画書 視察受入
国際第四紀学会 (INQUA)	千葉県、千葉市、県観光協会、千葉大学、国立歴史民俗博物館	招聘状 企画書
世界がん会議	千葉県、県がんセンター	企画書
第 129 回 IATA スケジュール会議	成田空港（株）、浦安市等	企画書
金融関係会合	観光庁、シェラトン舞浜ホテル	企画書
SIGGRAPH 2011	観光庁、JNTO、千葉県、千葉市、千葉工大、幕張メッセ等	プレゼン実施 幕張視察
日本外科学会 2012 年総会	幕張メッセ	企画書
第 31 回国際電波科学連合総会	千葉大学	個別訪問

< 主な連携強化活動 >

連携先	面談者	内容
地元大学	学長、理事、大学教官等	情報収集及び交換
千葉銀行	海外支店長等	情報交換会の実施（年 2 回） ・ CCB 海外事業について ・ 千葉銀行海外現地情報について

②会議主催者等を対象としたセミナーの実施

ア 「千葉コンベンションサロン」 (主催者説明会) の開催

国際会議等の主催者に対して、成田空港の魅力や、千葉県内で国際会議等を開催した主催者 (ラフェスタ・ミッレミア) から成功談を話してもらい、千葉開催の魅力を伝えるとともに、成田祇園祭りを楽しんでいただいた。

- ・開催日：平成21年7月10日
- ・会場：メルキュールホテル成田
- ・集客活動：学協会やIME08来場者へ来場促進メール、訪問・電話勧誘
- ・プログラム：a 説明会 千葉県で開催したコンベンションの成功談
千葉県でのコンベンション開催の魅力
b 交流会 主催者と会員企業等による商談会&情報交換会
c 成田祇園祭り視察
- ・開催実績：

参加者数	決定件数
231名	2件

③国内コンベンショントレードショーへの参加

ア 「第19回国際ミーティングエキスポ (IME2009)」参加

日本で唯一の総合コンベンションイベント (IME) に千葉ブースを出展。

千葉県の農林水産関係団体、ホテル等の協力により、千葉開催の魅力を発信した。

- ・開催日：平成21年12月8～9日
- ・会場：東京国際フォーラム
- ・主催：観光庁、日本政府観光局 (JNTO)、日本コンGRESコンベンションビューロー (JCCB)
- ・集客活動：千葉コンベンションサロンの参加者やIME09来場予定者へ来場促進メール、訪問・電話勧誘を実施。
- ・ブース展開：コンベンション開催情報等のアンケートに答えてくれた中から抽選により千葉の魅力的な厳選オリジナル商品 (おせち料理、伊勢エビ、ホテル宿泊券、ゴルフプレー券等) を、プレゼント。
- ・開催実績：

全体来場者	千葉ブース来場者	商談件数	誘致中
2,956名	144名	144件	4件

イ 「国際会議支援セミナー」参加

国際会議主催者を対象として、国際会議の誘致及び開催支援等についての講演会と各コンベンションビューローのプレゼンテーションを実施。

- ・開催日：平成22年3月9日
- ・会場：京王プラザホテル
- ・主催：日本政府観光局(JNTO)
- ・ブース展開：名刺交換及び商談を行うとともに、千葉県産のいちご「ピーチベリー」と地酒を振舞った。
- ・開催実績：

セミナー参加者数	商談件数	誘致中
70名	3件	2件

ウ 「千葉県観光ビジネス商談会」参加

大手日系旅行代理店をはじめ、海外からの来客者の旅行アレンジを行っている旅行会社等に対し、千葉県の観光資源をPRし、地域経済の活性化を図るべく開催された商談会に参加。

- ・開催日：平成21年12月16日
- ・会場：千葉銀行本店
- ・主催：千葉銀行
- ・ブース展開：インスタンドで千葉のPRをし、名刺交換及び商談を行った。

④海外での誘致活動

海外トレードショー等に出展するとともに、併せて現地での説明会を開催し、直接海外の主催者及び関係機関に対し誘致活動を行った。

ア IT & CM China 2009（中国・上海で開催される最大のインセンティブ、国際会議等の専門見本市）へ参加して、成長が著しい中国マーケットで千葉県の魅力をPRし商談会を実施した。また、市内関係機関の訪問にあたり、千葉銀行上海事務所と協働誘致活動を実施した。

- ・開催時期：平成21年4月
- ・開催地：上海（中国）
- ・開催実績：

上海市内訪問件数	展示会商談件数	合計
8件	22件	30件

イ IT&CMA2009（バンコクで開催されるアジア最大のインセンティブ、国際会議等の専門見本市）へ参加して千葉県の魅力をPRし商談会を実施した。

- ・開催時期：平成21年10月
- ・開催地：バンコク（タイ）
- ・開催実績：

展示会商談件数
23件

ウ JNTO 主催欧州セミナー（商談会&交流会）

JNTO が主催した欧州セミナー（ジュネーブ・ロンドン）に参加して海外の主催者に千葉県の魅力を直接セールスした。ロンドンでは、千葉銀行ロンドン支店の協力を得て商談会を行った。

- ・開催時期：平成21年10月
- ・開催地：ジュネーブ（スイス）、ロンドン（イギリス）
- ・開催実績：

ジュネーブ・ロンドン市内訪問件数	セミナー商談件数	合計
7件	23件	30件

⑤国内外デシジョンメーカーの視察受入れ及び招聘

受入団体	受入時期	内容
「中東欧研究国際学会」 会長、副会長、事務局長	平成21年8月	・副知事・千葉市長表敬訪問。 ・幕張・成田・佐原エリア視察。 ・地元関係者（県、千葉市、千葉大学、神田外語大学、千葉県日ロ協会等）による歓迎レセプションの実施。
「PARAGON CONVENTION」 （欧州 PCO）	平成21年11月	幕張視察
北京・上海インセンティブ 視察団	平成21年11月	幕張・舞浜視察
「SIGGRAPH2011」	平成21年12月	幕張視察

ア 国際会議海外キーパーソン招請事業「MEET JAPAN 2010」参加

JNTO が主催。海外からキーパーソンを招聘し、視察と商談会・懇親会を実施する事業。千葉県内の視察受入とプレゼンテーションを実施し、千葉開催を働きかけた。

- ・視察受入日：平成 22 年 2 月 27 日～3 月 1 日
- ・視 察 場 所：幕張～御宿～勝浦～鋸山～かずさアカデミアパーク
- ・視 察 者：国際会議国内外キーパーソン 4 名

⑥誘致実績

戦略的にコンベンション等の誘致に取り組んだ結果、平成 21 年度における誘致件数及び経済波及効果額は、次のとおりであり、地域経済の活性化に貢献した。

	企業 会議	インセン ティブ	国内会議	国際会議 等	展示・イ ベント	合計	経済波及効果 額
件数	1 件	2 件	98 件	34 件	10 件	145 件	135 億円

また、誘致に成功した主なコンベンション等は、次のとおりである。

種別	名称	開催時期	参加者数	開催地
国際 会議	金融関係会合	平成 22 年 3 月	30 名	シェラトン 舞浜
	第 19 回原子力工学国際会議 ICONE19	平成 23 年 5 月	800 名	幕張メッセ
	第 10 回ヘレンケラー世界会議及び 第 4 回世界盲ろう者連盟総会	平成 25 年 5 月	800 名	幕張メッセ
	第 10 回アジア太平洋タバコ対策会議	平成 25 年 8 月	1,000 名	幕張メッセ
国内 大会	日本放射線腫瘍学会第 23 回学術大会	平成 23 年 11 月	1,300 名	ベイ東急
	第 53 回日本臨床細胞学会総会(春季大 会)	平成 24 年 6 月	4,000 名	幕張メッセ
イベ ント	旅フェア 2010	平成 22 年 5 月	120,000 名	幕張メッセ

(2)コンベンション市場調査

各種コンベンション情報の収集・調査及びデータベースを更新し、主催者や会員に情報提供を積極的に行った。

①コンベンション情報の収集

国際会議協会（*ICCA）による国際会議データベース、その他あらゆる方法を活用し、コンベンション開催情報の収集活動を行った。

- ・平成21年度情報収集件数：245件（国際94件、国内151件）

*ICCA：International Congress and Convention Associationの略称。アムステルダムに本部を置き、国際会議・行催事の情報収集し、相互に交換することにより国際会議・展示事業の促進を図ると共に国際会議データの発表を行っている。世界約80カ国850機関が加盟している。

②県内コンベンション開催情報の調査

県内のコンベンション統計を把握するため、コンベンション施設、市町村等へのアンケート調査を実施し、コンベンション開催情報を収集した。

期 間	県内開催コンベンション件数	JNTO 基準国際会議開催件数
平成21年1月～12月	317件	100件

③データベース管理・運営

蓄積データベースを適正管理するため、主催者団体及びコンベンション等の情報を更新するとともに誘致・支援活動への活用と会員、コンベンション関係者等へ情報の提供を行った。

(3)行政及びコンベンション関係団体との連携

①「観光立県千葉推進本部国際会議等誘致推進部会」に参加

激化するコンベンションの誘致に勝ち抜くために、県庁内各課をはじめ、県関係機関が連携して取り組むべく県が設置した会議に参加した。

- ・開催時期 平成21年7月、11月、平成22年2月
- ・会議内容 国際会議等誘致をめぐる動向
国際会議等の誘致状況について 等

②セミナー・研修会等への参加

国内外のコンベンション関係団体に参加し、海外コンベンションビューローや施設との情報交換やセミナー、研修会に参加することにより、誘致に必要なコンベンション情報を収集するとともに、最新のコンベンション動向を把握した。

名称	主催団体	内容
ICCA/JTA Educational Seminar	観光庁	ICCA データ活用に関する教育セミナー
JCCB コンベンション ビューロー部会	JCCB	年 2 回開催（5 月、10 月） 第 2 回部会は、館山で開催し、全国のビューロー関係者 53 名が館山を視察し意見交換会を実施した。
*MPI 講演会&勉強会	MPI ジャパン	年 10 回開催 世界や国内の MICE トレンドをテーマごとに多方面の関係者から発表してもらい情報交換等を実施した。

*MPI：Meeting Professionals International の略称。アメリカを中心に世界 2 万 4 千人のミーティングプランナーとサプライヤー会員を持つ国際組織で教育とネットワークキングを柱として活動している。

(4) 新たな誘致・支援プログラムの企画開発

① 誘致・支援ツールの作成と提供

ア 「幕張 OFFICIAL MAP2010」 作成 15 万部作成

幕張新都心に関する唯一の総合情報マップ（日本語・英語併記）として、当財団の会員を中心に広告・制作協賛金を募り作成。

2010 年度版は携帯しやすいサイズに変更するとともに国体開催年にふさわしいデザインとした。

・幕張メッセ、幕張周辺ホテル、企業、レストラン・ショッピング情報等掲載
イ パンフレット等の作成

「会員ホテルガイド」

1,000 部

② 誘致プログラムの開発等

ア Chiba MICE Ambassador 制度

本県を会議会場 MICE エリアとして国内外に PR する“親善大使”「Chiba MICE Ambassador」制度を創設した。第 1 号のアンバサダーには、平成 20 年に幕張で開催された保険業界の国際大会「*MDRT 大会」の会議運営部長、レイ・コプチンスキー氏を任命。海外の展示会・商談会で積極的に PR をお願いし、千葉県の実名度、イメージアップを図り、千葉への MICE 誘致促進につなげていく。

*MDRT：Million Dollar Round Table の略称。卓越した生命保険と金融サービスの専門家による国際的な組織。世界 82 カ国の国と地域、約 32,000 名の会員を有する。

イ 「東京ベイエリア」 MICE ガイド（英文）作成

世界の MICE 誘致競争に打ち勝つため、千葉、東京、横浜のビューローで初めて連携し、東京湾を中心とした地域（東京ベイエリア）の魅力と MICE の一連の受け入れ態勢を海外へ積極的にアピールし、海外からの MICE を誘致するためにパンフレットを作成した。

- ・作成部数 1,500 部
- ・配布先 海外の MICE 展示会や商談会等

③支援プログラムの開発等

多様化する主催者のニーズに的確に対応するため、従来の支援プログラムを整理し、100 種類のメニューに分類し直し、主催者のニーズに合った内容を提案、提供することとした。

2 コンベンション支援事業

(1)コンベンション開催支援

コンベンション主催者及び参加者に対し、質の高い、きめ細かな支援サービスを実施した。

県内開催コンベンションに対する支援状況

	国内会議	国際会議等	展示会・イベント	合計
件数	34 件	4 件	5 件	43 件
支援メニュー件数	60 件	12 件	6 件	78 件

(主な支援内容)

- ・コンベンション開催助成金及び貸付金の交付。
- ・歓迎レセプション時における伝統芸能や千葉県の特産物販売等の手配。
- ・文化・語学・コンベンションボランティアの紹介。
- ・インフォメーションの設置等

①助成金・貸付金制度の運用

ア コンベンション開催助成金の交付状況

コンベンション開催助成金交付審査会で決定した 3 件に対して 50 万円を交付した。

会議名称	開催年月	参加者	交付額	区分
第 1 回アジア太平洋ヘルスプロモーション健康教育学会	平成 21 年 7 月	700 名	20 万円	国際
第 26 回日本ハイパーサーミア学会	平成 21 年 9 月	200 名	10 万円	国内
第 29 回日本看護科学学会学術集会	平成 21 年 11 月	2,800 名	20 万円	国内
合計			50 万円	

イ コンベンション開催準備資金貸付金の貸付状況

コンベンション開催準備資金貸付金審査会で決定した 2 件に対して 1,000 万円の貸付を行った。

会議名称	開催年月	参加予定者	貸付額	区分
INTERSPEECH2010	平成 22 年 9 月	800 名	500 万円	国際
第 7 回アジア肩関節学会	平成 23 年 7 月	450 名	500 万円	国際
合 計			1,000 万円	

(2)主催者のニーズに合わせた開催支援(有料支援含む)の実施

支援プログラムの中から、主催者の要望に的確に対応した支援サービスを実施した。また、有料で実施した支援プログラムにより、財団の収入確保に努めた。

種 別	件数	内 容
伝統芸能・アトラクション	1 件	総州太鼓社中
コンgresバッグ企画販売	1 件	
千葉県の特産物販売手配	10 件	千葉県の名産・特産品、伝統的工芸等
その他	34 件	幕張オフィシャルマップ等
合 計	46 件	

(3) 展示会・イベントへの支援

県内で開催された展示会・イベントでは、開催地域と連携し、地域の活性化に結びつくような企画支援を行った。

種別	会議名	開催地	参加者	支援メニュー
国内	地球惑星科学 連合 2009 大会 (平成 21 年 5 月)	千葉市	4,000 名	・コンベンション・ボランティア手配 ・ビスビジョン放映 ・ホテルコンベンションレート設定 ・TDR コンベンションパスポート手配 ・千葉県の物産販売手配 等
	第 29 回日本看護 科学学会学術集会 (平成 21 年 11 月)	千葉市	2,800 名	・コンベンション開催助成金交付 ・事前視察同行 ・幕張オフィシャルマップ配布 ・TDR コンベンションパスポート手配 ・コンgresバッグ作製 ・千葉県の物産手配 等
国際	第 1 回アジア太平洋 ヘルスプロモーション健康 教育学会 (平成 21 年 7 月)	千葉市	700 名	・コンベンション開催助成金交付 ・事前視察同行 ・コンベンションボランティア手配 ・語学ボランティア手配 ・インフォメーション設置 ・千葉県の物産販売手配 等
	サマーソニック 2009 (平成 21 年 8 月)	千葉市	16 万人	・幕張メッセ、マリスタジアム、海浜 公園等会場及び地元住民等との調整 ・「にぎわい研究会」を中心に「サマソ ニ前夜祭」を開催
	ラフェスタ・ミッ レミア (国際公 認クラシックカ ーラリー) (平成 21 年 10 月)	県内 14 市町	3,000 名	・通過関連市町・施設全体会議 ・関連市町個別相談 ・県内通過ルート相談 ・開催告知 ・後援名義手配 ・11 拠点におけるイベント及び昼食会場 等の設営 等

(4) 各種ボランティアの活用

語学ボランティアやコンベンションボランティアを紹介し、コンベンションの円滑な開催を支援した。

- ・語学ボランティア紹介 2 件 7 名
- ・コンベンションボランティアの紹介 3 件 85 名

3 広報事業

(1) 広報紙の発行

① 「Face to Face」の発行

当財団の機関紙を発行し、会員、主催者、関係機関等に対して、コンベンション情報を提供するとともに、積極的に当財団の活動内容及びコンベンションエリア千葉のPRを行った。

- ・発行部数：年2回 各5,000部
- ・主要配布先：会員、主催者、報道機関、他ビューロー、視察者等

61号 (平成21年11月発行)	・会長あいさつ ・寄稿 幕張メッセ社長(メッセ20周年) ・誘致情報・活動報告・今後のコンベンション紹介 (主催者インタビュー)
62号 (平成22年3月発行)	・CCB-IC 20周年の歩み ・副会長(千葉市長)あいさつ ・新春会員交流会報告 ・第3次中期計画、平成22年度事業計画 ・誘致情報、活動報告・今後のコンベンション紹介 (主催者インタビュー・寄稿)

② 「ぶらりネットCHIBA」の発行

県内で開催されるイベントやコンベンション情報を中心とした一般向け情報紙として発行。エリアごとにスポットを当て、地元の観光や名物、イベント等を紹介することで身近で親しみやすい千葉県の魅力を広くPRを行った。

- ・発行部数：年6回(奇数月) 各160,000部(No.114~119)
- ・主要配布先：JR・京成各主要駅、公共施設、県内各自治体、主要ホテル、インフォメーションセンター、会員等

(2) インターネット事業

① ホームページ事業

ホームページ上において、コンベンション開催地としての千葉県の魅力や利便性、施設等を主催者や広く一般に対してPRを行った。

また、英語版のホームページのリニューアルを図り、海外のコンベンション関係者からのアクセス向上を図った結果、問い合わせが徐々に増え、千葉の知名度が高まりつつある。

- ・平成21年度アクセス件数 29,144件

②情報提供事業

ビジネスチャンスへと繋がるような情報を「会員ニュース」として当財団の活動報告とともに配信することにより、会員への情報提供サービスを行った。

さらに、海外のメディアや主催者に向けて英文ニュースレターを配信し、千葉県及び当財団の認知度を高めるとともに、コンベンション開催情報を獲得し誘致活動に繋げた。

- ・会員ニュース：11回配信（FAX、メール）
- ・英文ニュースレター：4回配信（海外メディア、主催者等約2,200）

(3)プレスリリースの実施

当財団の活動成果を県政記者クラブなど通じて報道機関に積極的にプレスリリースを実施した結果、各紙に掲載され、広く一般にコンベンション誘致の重要性・地域への効果について周知を図ることができた。

また、メディアへ取り上げられることにより、当財団の活動への会員の認識が高まり、良い効果が現れている。

①プレスリリース 9件

- ・誘致成功

「第19回原子力工学国際会議（ICONE 19）」、「第10回アジア太平洋たばこ対策会議（APACT 10）」

- ・JNTO 国際会議誘致・開催貢献賞の受賞

「第13回国際神経芽腫学会（ANR 2008）」（CCB-ICが財政、運営、郷土芸能紹介等支援）

- ・「東京ベイエリア MICE ガイド作成」、「Chiba MICE Ambassador 設置」等

②メディア掲載 30件

上記プレスリリースの他、コンベンションサロン、幕張新都心、ビューロー20周年等

(4)視察受入れ

主催者、関係団体、諸外国からの視察団等の視察を受入れ、千葉県の魅力を実感していただくとともに、千葉県内でコンベンションやインセンティブ旅行を開催することの優位性をアピールした。

- ・受入件数 35件

(5) 広告収入の確保

財団の刊行物、ホームページなどを広告媒体とし、財団の収入確保を図った。

(6) 会員サービス

会員サービスとして財団への理解・協力を促進するため、会員交流会（講演会・コンベンションサロン）を開催し、異業種交流や情報交換を図るとともに、新規会員獲得に活用した。また、会員のビジネスチャンスの拡充や当財団広告媒体への優先的な活用、ホームページへ企業PR文を掲載するなどの会員サービス事業を展開した。

また、ビジネスチャンスに活かせる情報や財団の活動報告を「会員ニュース」として配信し、会員に役立つ情報の提供を行った。

① 千葉コンベンションサロン

（成田祇園祭に合わせ、主催者セミナーと同時開催。）

- ・開催日：平成21年7月10日
- ・会場：メルキュールホテル成田（成田市）
- ・参加者数：231名

② 新春会員交流会

- ・開催日：平成22年1月29日
- ・会場：幕張メッセ（千葉市）
- ・参加者数：217名

4 受託事業

(1) フィルムコミッション事業(千葉県から受託)

千葉県のフィルムコミッションの総合窓口として、県内市町村と連携し運営するとともに、フィルムツーリズム推進事業により、県内の撮影地を紹介するなど、新しい形の「コンベンションエリア千葉」の情報発信を行った。

①実績件数（支援件数） 37件（222件）

- ・主な撮影支援作品「のだめカンタービレ The MOVIE」（栄町）、「アンダンテ」（横芝光町）、「坂の上の雲」（香取市）、「ゲゲゲの女房」（匝瑳市）、「コード・ブルー2」（山武市）等

②千葉県内撮影実績調査の実施

- ・平成21年（暦年）県内撮影件数 533件

③映画ドラマ等撮影会社訪問セールスの実施（15ヶ所）

④県内の撮影地を紹介したパネル展示の実施（千葉ポートタワー）

⑤ちばフィルムツーリズムのパンフレット及びホームページの管理・運営

⑥市町村FC担当者宛てメーリングニュースの配信

平成21年8月より開始、月1回定期配信及び必要に応じて実施

⑦市町村FC担当者意見交換会の実施

- ・開催日：平成21年6月11日
- ・会場：千葉市生涯学習センター
- ・参加者数：42市町村50名

(2) 千葉ロッテマリーンズかもめ会事業(千葉県から受託)

千葉ロッテマリーンズが千葉市民県民のフランチャイズ球団として発展できるように、千葉県経済界として支援と応援をしていくために設立された千葉ロッテマリーンズかもめ会の事務局を受託した。

①激励観戦

- ・開催日 平成21年4月3日、8月25日、9月25日
- ・参加者数 会員延べ527名

②会員の集い

- ・開催日 平成21年11月16日
- ・参加者数 約140名

③石垣島春季キャンプ激励ツアー

- ・開催日 平成22年2月5日～7日
- ・参加者数 16名

④平成22年開幕激励観戦

- ・開催日 平成22年3月26日
- ・参加者数 会員約170名

(3) 誘致事業、市場調査事業に関連する事業の積極的な受託

① 「Yokoso! Japan 2009 春 インバウンド商談会」 (千葉県から受託)

- ・実施時期 平成21年5月
- ・会場 パシフィコ横浜
- ・県内参加企業 13社
- ・参加バイヤー 288名 (メディア含む)

② 「成田観光ガイドの制作」 (千葉県から受託)

- 訪日外国人旅行者や国内外の観光事業者を対象に千葉県 (成田周辺地区) への訪日観光を促進するために、成田周辺の観光情報ガイドを作成。(中国語 (繁体字、簡体字)、韓国語、英語)
- ・作成部数 中国語 (6,000部)、韓国語 (3,000部)、英語 (18,000部)
計 27,000部

③ 千葉県 KOTFA2009 事業の補助

- ・開催期間：平成21年6月4日～7日
- ・会場：「第22回韓国国際観光展(KOTFA)」(韓国ソウル市)
- ・内容：「千葉県独自の商談会&交流会」と観光展出展

1 国際交流・協力推進事業

(1) 民間団体の中核としての機能の強化

① インターネットによる情報収集・提供事業

インターネットを活用した情報収集を行うとともに、千葉県国際交流センターのホームページに、国際交流ボランティア制度や各種相談事業、在住外国人のための生活情報、県内の民間国際交流・協力団体や日本語教室に関するデータベース等の情報を掲載している。

② メーリングリストによる情報交換

メーリングリストによる国際交流等の情報提供を行った(参加者数 373 名)。

③ 「国際交流伝言板」による交流事業の情報提供

県内の国際交流・協力団体や行政機関の事業(イベント・募集等)を取りまとめ、「国際交流伝言板」(年3回:日本語版 各2,000部 英語・中国語・スペイン語版 各900~1,150部)として、賛助会員等に情報提供した。

④ 会報「国際交流つうしん」の発行

千葉県国際交流センターの事業や民間団体等を紹介し、国際交流・協力活動への意欲を高めるため、賛助会員、市町村国際交流協会、民間団体、公民館、図書館、市町村等を対象として会報を発行した(年3回 各10,000部発行)。

⑤ 国際交流サロンの提供

県民による国際交流・協力を目的とした活動や交流の場として、国際交流センターサロンや研修室の無料貸出し等を行った(利用累計93回、554人)。

⑥ 連絡会議等の開催

ア 県内市町村等国際交流・協力連絡会議

市町村国際交流協会、市町村国際交流担当課及び国際交流・協力団体等による、相互連携や情報提供を図るための会議を開催した。

- ・開催日:平成21年6月8日
- ・場所:海外職業訓練協会研修室
- ・参加者数:70名
- ・内容:(ア)千葉県の国際化施策について
(イ)平成21年度(財)ちば国際コンベンションビューロー事業について
(ウ)JICA事業について
(エ)意見提供 12団体が発表

イ 千葉県外国人相談担当者意見交換会

市町村や国際交流協会等における在住外国人への相談担当者に対し、資質向上や情報交換を図るための会議を開催した。

- ・開催日：平成21年7月14日
- ・場所：千葉県国際交流センター研修室
- ・講師：二宮 正人
- ・参加者数：28名
- ・内容：講義「移住101周年と在日ブラジル人就労者の直面する課題」
情報交換

ウ 外国人児童生徒支援事業意見交換会

日本語を母語としない子どもの学習支援をするボランティアに意見交換の機会を提供するとともに、ボランティア間のネットワークづくりを支援した。

- ・開催日：平成22年1月18日
- ・場所：千葉県国際交流センター研修室
- ・講師：関口明子、塩田多賀子（社団法人国際日本語普及協会）
- ・参加者数：35名
- ・内容：講義「学習支援の工夫」
意見交換

(2) 市町村協会等他の団体で実施困難な事業の実施

① 在住外国人のための無料法律相談

在住外国人が地域社会で日常生活を送る際に抱える法的な問題解決を支援するため、千葉県弁護士会・千葉県行政書士会と連携して無料法律相談を行った（平成21年度から毎月1回開催）。

- ・開催日：平成21年4月20日、5月11日、6月15日、7月6日、
8月24日、9月7日、10月19日、11月9日、12月14日、
平成22年1月12日、2月15日、3月1日 計12日
- ・場所：千葉県国際交流センター研修室
- ・人数：延べ43名

② 在住外国人のための無料総合相談会

弁護士、行政書士、社会保険労務士、精神科医による在住外国人向けの総合相談会を実施した。

- ・開催日：平成22年1月31日
- ・場所：船橋市中央公民館
- ・人数：16名（17件）

③ 千葉県外国人学生住居アドバイザー事業

外国人学生の住居確保を支援するため、千葉県と連携し、また、社団法人千葉県宅地建物取引業協会及び社団法人全日本不動産協会千葉県本部の協力を得て、住宅に関する情報提供・助言を行った。

- ・アドバイザー：39店

④国際交流ボランティア制度の運営

国際交流事業にボランティアとして積極的に参加を希望する県民をボランティア登録し、活動の場を紹介した。

ア 語学ボランティアの登録・紹介

登録者数：949名（平成22年3月31日現在）

紹介件数：35件

紹介ボランティア数：106名

イ ホストファミリーボランティアの登録・紹介

登録者数：358家庭（平成22年3月31日現在）

紹介件数：3件（24家庭）

ウ 文化ボランティアの登録・紹介

登録者数：257名（平成22年3月31日現在）

紹介件数：2件 紹介ボランティア数：3団体（延べ9名）

⑤外国人児童等支援事業

日本に来て間もない外国人児童・生徒や在住外国人のための短期集中日本語講座として「サバイバル日本語講座」を開催した。

・開催日：平成21年8月24日～26日（市川市国際交流協会）

平成21年8月25日～27日（八千代市国際交流協会）

・内容：夏休み集中による日本語学習会を市川市国際交流協会、八千代市国際交流協会との共催により実施。

(3)国際交流・協力ボランティアや民間団体の育成

①国際理解促進講座

県民の国際意識を高めるとともに、国際交流・協力活動を行う個人・団体やボランティアに対し、活動の促進や活性化を図るために役立つ研修を実施した。

・開催日：平成22年1月26日、2月4日、6日

・場所：ポートプラザちば、京葉銀行文化プラザ

・参加者数：82名

・内容：1日目「私の文化・あなたの文化 多文化共生を考える」

講師 王 慧槿（多文化共生センター東京）

2日目「みんなで考える地球温暖化のこと」

講師 木下理仁（かながわ開発教育センター）

3日目「世界に住む一人として、私にできること」

講師 ふくしま青年海外協力隊の会

「教師海外研修授業実践報告」

講師 JICA 教師海外研修参加者（モンゴル・マレーシア）

②日本語ボランティア講座

在住外国人に対し日本語を教えながら交流しようとするボランティアに対し、必要な知識と素養について学び、話し合う場としての講座を開催した。

- ・開催日：平成21年9月10日～11月9日（全10回）
- ・場所：千葉県国際交流センター研修室
- ・講師：高柳和子（TIJ 東京日本語研修所）
- ・参加者数：40名

③日本語ボランティア・スキルアップ講座

日本語ボランティア活動者に対し、更なる資質向上を目指す講座を開催するとともに、日本語ボランティア相互のネットワークづくりを図った。

- ・開催日：平成21年7月8日～29日（全5回）
- ・場所：千葉県国際交流センター研修室
- ・講師：矢部まゆみ（津田塾大学非常勤講師）
伊東祐郎（東京外国語大学留学生日本語教育センター教授）
谷 啓子（東京女子大学非常勤講師）
中川康弘（神田外語大学留学生別科専任講師）
吉田千春（神田外語大学留学生別科専任講師）
ヨフコバ四位エレオノラ（神田外語大学留学生別科専任講師）
稲葉和栄（神田外語大学留学生別科専任講師）
- ・参加者数：40名

④コミュニティ通訳研修

在住外国人の増加に伴う通訳者需要に対応するため、ボランティア通訳としての資質向上を図ることを目的に、行政サービスの基礎的知識を学ぶ研修を実施した。

- ・開催日：平成21年11月20日、27日、12月4日、11日
- ・場所：千葉県国際交流センター研修室
- ・講師：廣瀬理夫（千葉県弁護士会）
大和田高道（入管協会）
田島 光（千葉県社会保険労務士）
福田峰子（千葉市子育て支援課）
始関秀次（千葉市子育て支援課）
宇田川政男（ファミリーセンター・ヴィオラ）
- ・参加者数：48名
- ・内容：「在留資格と外国人登録の基礎知識」「通訳の基礎トレーニングとロールプレイ」「涉外戸籍の基礎知識」「社会保険制度の基礎知識」「母子保健」「福祉制度」「相談窓口からの事例報告」

⑤大学生・高校生向け国際理解セミナー

ア 高校生のための国際理解セミナー

高校生が外国の文化や考え方などを理解するための講座を実施した。

- ・開催日：平成21年8月24日
- ・場所：千葉県立鴨川青年の家
- ・講師：カール タカウエ
- ・参加者数：51名（高校生）
- ・内容：「ハワイの日系人の歴史」

イ 大学生のための国際理解促進講座

大学生が外国の文化や考え方などを理解しながら、在住外国人と共に暮らしていく意識を醸成するための講座を実施した。

- ・開催日：平成22年2月9日、10日、12日
- ・場所：京葉銀行文化プラザ
- ・講師：西 あい（NPO法人開発教育協会）
徳永あかね（神田外語大学留学生別科）
白木明子（社団法人青年海外協力協会）
- ・参加者数：29名
- ・内容：「国際経済と途上国の貧困の問題」「異文化コミュニケーション」
「国際協力」

⑥各種関係機関・団体との連携

ア 次の法人又は任意団体の構成員（理事、評議員）として、国際交流・国際協力の推進に参画した。

- ・財団法人千葉県国際交流協会
- ・財団法人日本ユニセフ協会千葉県支部
- ・財団法人幕張インターナショナルスクール
- ・千葉ウイスコンシン協会

イ 次の分野について、関係機関と情報交換・意見交換等を行った。

- ・外国人児童生徒の日本語教育（外国人児童生徒受入体制整備研究会）
- ・高校生の国際理解（千葉県高等学校教育研究会国際教育研究部会）
- ・日本語学習支援コーディネーター研修（船橋市）
- ・我孫子市国際化推進基本方針見直し検討（我孫子市）
- ・八千代市外国人集住地域総合対策（八千代警察） 等

⑦大学生インターンシップの受入れ

学生の職業意識の向上及び国際交流・協力に関する理解の促進を図るため、千葉大学及び神田外語大学から3名の学生を受け入れた。

(4)国際協力、多文化共生等の啓発

①ちば出前講座

JICA と連携して、青年海外協力隊経験者や在住外国人を学校・公民館などに派遣し、国際協力や異文化理解等に関する県民の意識の啓発を図った。

- ・件数：24件
- ・派遣講師：27人

②グローバルフェスタ Chiba2009 の開催

一般県民を対象に、国際交流・国際協力・多文化共生の大切さや団体の活動状況等について、楽しみながら知ってもらうイベントを、千葉県、ユニセフ協会千葉県支部、JICA との4者共催により開催した。

- ・開催日：平成21年8月23日
- ・場所：千葉大学
- ・参加者数：約1,500名
- ・内容：講演「共に生きる～カンボジアでの国際協力～」(小山内美江子、脚本家、NPO法人JHP・学校を作る会代表理事)
学習会「いのちはみんなつながっている」(千石正一、財団法人自然環境研究センター)
国際交流・協力活動紹介コーナー
ユニセフのつどい 他

③国際交流フットサル大会の開催

在住外国人と一般県民が対等な立場で交流できる場として、グローバルフェスタ事業の一環として、フットサル大会「グローバルフェスタ Chiba Cup」を開催した。

- ・開催日：平成21年7月25日
- ・場所：フクダ電子スクエア
- ・参加チーム：8チーム(7か国)

④多文化共生フォーラムの開催

在住外国人の日本語学習をめぐる課題やその対応事例を紹介するフォーラムを開催した。

- ・開催日：平成21年11月18日
- ・場所：千葉市民会館
- ・参加者数：約125名
- ・内容：講演「日本語学習サポートについて考える」（井上恵子、千葉県教育委員会委嘱研究員）
パネルディスカッション
海老名みさ子（NPO法人 外国人の子供のための勉強会）
木本二美子（四街道国際交流友の会）
鈴木恵美子（財団法人千葉市国際交流協会）
鈴木正俊（日本語学習会「かけはし」）
長澤成次（房総日本語ボランティアネットワーク）

（5）調査・研究

①新規事業の検討

平成22年度事業として、国際交流ボランティア制度において、日本語を母語としない住民と日本語でコミュニケーションすることを通じて交流を深める「日本語ボランティア」を新たに登録対象とすることとした。

また、医療、保健、福祉、教育、防災等に関し、高度に緊急な支援を要する在住外国人のため、国際交流ボランティアを紹介する「多文化共生サポート制度」を創設することとした。

2 受託事業

（1）外国人テレホン相談事業（千葉県から受託）

外国人県民が安全で快適な生活を送ることができるよう、総合的相談窓口として外国人テレホン相談事業を千葉県から受託した。

- ・対象言語：英語、スペイン語、中国語
- ・相談件数：1,019件

（2）地震・台風・火事の体験ツアー（千葉県から受託）

外国人県民に対し、防災意識を啓発するため、千葉県西部防災センターを語学ボランティアと共に見学する「地震・台風・火事の体験ツアー」を千葉県から受託した。

- ・開催日：平成21年11月30日
- ・場所：千葉県西部防災センター
- ・参加者：外国人県民及びその家族等関係者41名

庶務事項

1 組織

(1) 理事会・評議員会・監事

寄附行為に従い、財団の議決機関として理事会・評議員会を、予算執行の監査機関として監事を設置している。

平成 22 年 3 月 31 日現在、理事 27 名・評議員 38 名・監事 3 名が就任している。

<理事会・評議員会・監査の開催経過>

会 議	開催日・会場	議 題
第 1 回理事会	平成 21 年 5 月 26 日 三井ガーデンホテル千葉	1. 平成 20 年度事業報告及び収支決算 (案) について 2. 平成 21 年度補正予算 (案) について 3. 評議員の選任について
第 2 回理事会	平成 22 年 3 月 12 日 三井ガーデンホテル千葉	1. 第 3 次中期計画 (案) について 2. 平成 22 年度事業計画及び予算 (案) について 3. 組織規程の一部改正 (案) について 4. 経理規程の一部改正 (案) について 5. 平成 21 年度補正予算 (案) について 6. 評議員の選任について
第 1 回評議員会	平成 21 年 5 月 22 日 ホテルポートプラザちば	1. 平成 20 年度事業報告及び収支決算 (案) について 2. 平成 21 年度補正予算 (案) について 3. 理事の選任について
第 2 回評議員会	平成 22 年 3 月 11 日 ホテルポートプラザちば	1. 第 3 次中期計画 (案) について 2. 平成 22 年度事業計画及び予算 (案) について 3. 組織規程の一部改正 (案) について 4. 経理規程の一部改正 (案) について 5. 平成 21 年度補正予算 (案) について 6. 役員を選任について

監 査	開催日	議 題
平成 20 年度監査	平成 21 年 5 月 18 日 (財) ちば国際コンベンション ビューロー研修室	業務監査 会計監査

(2) 会員組織

平成 22 年 3 月 31 日現在のコンベンション会員数は 369、国際交流会員数は 694 であり、その内訳は、次のとおりである。

コンベンション会員 団体 367 個人 2
国際交流会員 団体 102 個人 592

＜平成 21 年度に新規加入したコンベンション会員＞

(入会順)

1	株式会社豊文堂
2	JFEテクノリサーチ株式会社
3	アイ・ティー・エム株式会社
4	株式会社ニッポン放送エンターテインメント開発部
5	デンタルサポート株式会社
6	株式会社アルファユニ
7	ヒルトン東京ベイ
8	株式会社三和日本ツーリスト
9	有限会社エッセン
10	株式会社ジー・ピー・アイ
11	リトルハウス株式会社

(3) 事務局

平成 22 年 3 月 31 日現在の事務局体制は、専務理事以下 25 名（嘱託 6 名含む）である。

2 内部管理体制の確立とコンプライアンスへの取組み

職員、嘱託職員に係る規定の整備を行った。詳細は、次のとおりである。

(1) 平成 21 年 4 月 1 日改正及び制定

規程等名称	主な改正内容等
就業規則	子育て休暇の対象範囲の拡大
嘱託等取扱要綱	子育て休暇の対象範囲の拡大
フィルムコミッション嘱託取扱要綱	子育て休暇の対象範囲の拡大
再雇用に関する規程	(新規制定)

(2) 平成 21 年 5 月 29 日改正

規程等名称	主な改正内容等
給与規程	6 月期末・勤勉手当の一部凍結

(3) 平成 21 年 7 月 24 日改正

規程等名称	主な改正内容等
給与規程	管理職手当減額措置の継続

(4) 平成 21 年 9 月 1 日改正

規程等名称	主な改正内容等
就業規則	勤務時間の見直し
嘱託等取扱要綱	勤務時間の見直し
フィルムコミッション嘱託取扱要綱	勤務時間の見直し
職員退職手当支給規程	支給率・勤続期間の見直し

(5) 平成 21 年 12 月 1 日改正

規程等名称	主な改正内容等
給与規程	給料表、期末・勤勉手当の支給割合の引下げ

3 公益財団法人への移行準備

第 2 回理事会及び評議員会において、公益財団法人への移行スケジュールについて説明した。

その他、研修会（8 回）や相談会（2 回）に出席した。